

北本市都市計画マスタープラン（案） 新旧対照表（令和 7 年 11 月版）		【改定理由】①上位・関連計画との整合性確保 ②市の関連施策との整合性確保 ③状況の変化に応じた文言や図の修正 ④統計数値等の時点修正		
新		旧		改定理由
頁	本文	頁	本文	
2	<p>第 1 章 都市計画マスタープランの位置づけと役割</p> <p>1－1 都市計画マスタープランとは</p> <p>都市計画マスタープランとは、「市町村の都市計画に関する基本的な方針」として都市計画法第 18 条の 2 に定められ、住民の意見を反映しながら市町村が策定する法定計画です。</p> <p>都市計画マスタープランは、<u>議会の議決を経て定められた</u>市町村の建設に関する基本構想（<u>本市</u>の場合は「第<u>六</u>次北本市総合振興計画」）及び「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」（県が策定するもの）を上位計画として、その内容に即して策定することとされています。</p> <p>都市計画マスタープランは、市のまちづくり関連の部門別計画や各種都市計画決定、都市計画・まちづくり関連の各種事業を行う上での前提となる計画<u>です</u>。</p>	1	<p>第 1 章 都市計画マスタープランの位置づけと役割</p> <p>1-1 都市計画マスタープランとは</p> <p>都市計画マスタープランとは、「市町村の都市計画に関する基本的な方針」として、<u>都市計画法第 18 条の 2 に定められ、住民の意見を反映しながら市町村が策定する法定計画です。</u></p> <p>都市計画マスタープランは、市町村の建設に関する基本構想（<u>北本市</u>の場合は「第<u>五</u>次北本市総合振興計画」）及び「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」（県が策定するもの）を上位計画として、その内容に即して策定することとされています。</p> <p>都市計画マスタープランは、市のまちづくり関連の部門別計画や各種都市計画決定、都市計画・まちづくり関連の各種事業を行う上での前提となる計画<u>になります</u>。</p>	③状況の変化に応じた文言や図の修正 ⇒都市マスの位置づけについて都市計画法に基づく記載に変更 ⇒第六次総合振興計画の策定を反映 ※表現の精査・見直し
	<p>図. 都市計画マスタープランの位置づけ</p>		<p>図. 都市計画マスタープランの位置づけ</p>	③状況の変化に応じた文言や図の修正 ⇒第六次総合振興計画および立地適正化計画の策定を反映

新		旧		改定理由
頁	本文	頁	本文	
3	<div>1－2 都市計画マスタープランの見直しの必要性</div> <p><u>本市</u>では、平成 11 年 3 月に「北本市都市マスタープラン」を策定し、平成 21 年<u>の</u>中間見直しを<u>経て、令和 2 年 3 月に全面改定を行い、</u>これまで「<u>緑にかこまれた健康な文化都市～快適な暮らしと活力あるまち 北本～</u>」を目指し、計画的なまちづくりを行ってきました。</p> <p><u>そして、この度令和 17 年度を目標年次とする「第六次北本市総合振興計画」の策定やデーノタメ遺跡の国の史跡指定とそれに伴う都市計画変更、社会情勢の変化等に対応するため、都市計画マスタープランを見直すこととしました。</u></p> <p><u>今回の見直しは、令和 2 年 3 月の全面改定以降の動向に対応することを主な目的とし、基本的には、従前の都市計画マスタープランの考え方を継承するものとします。</u></p>	2	<div>1-2 都市計画マスタープランの見直しの必要性</div> <p><u>北本市</u>では、平成 11 年 3 月に「北本市都市マスタープラン」を策定し、平成 21 年に中間見直しを行い、これまで「<u>みんなではぐくむ『みどり』の北本</u>」の実現に向けて、まちづくりを推進してきました。</p> <p><u>平成 29 年 3 月に、令和 7 年度を目標とする「第五次北本市総合振興計画」が策定されましたが、都市計画マスタープランは総合振興計画に即して作成するものと定められているため、これに合わせて見直しが必要となります。</u></p> <p><u>また、中間見直し後、概ね 10 年が経過し、北本市でも人口減少・少子高齢化が進行していることや、安全・安心に配慮したまちづくりの必要性の高まりなどを背景に、都市づくりの目指すべき方向性を見直す時期が来ています。</u></p> <p><u>このようなことから、都市計画マスタープランの見直しを行うこととしました。</u></p>	③状況の変化に応じた文言や図の修正 ⇒第六次総合振興計画の策定や R2.3 改定以降の動向を踏まえて修正 ※表現の精査・見直し
	<div>1－3 計画期間</div> <p><u>都市計画マスタープランの上位計画である「第六次北本市総合振興計画」では、今後 10 年間のまちづくりの方向性を定めるため、計画期間を令和 17 年度までとしています。また、上位に位置づけられる「北本都市計画都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」は、目標年次について、おおむね 20 年後の都市の姿を展望して定めるものとしています。</u></p> <p><u>こうした考え方を踏まえ、都市計画マスタープランは、「第六次北本市総合振興計画」との足並みを揃えとともに、さらに長期的な視点からまちづくりを捉えた計画とするため、計画期間を令和 27 年度までとします。</u></p>		①上位・関連計画との整合性確保 ⇒第六次総合振興計画を踏まえ、計画期間を追加	